

令和元年度 指定管理業務 実績評価シート

部課名 健康こども部
スポーツ振興課

施設名	弘前市運動公園、弘前克雪トレーニングセンター
施設の設置目的	市民一人一人の健康増進と体力づくりのため、児童・生徒から高齢者まで各世代にあった各種競技スポーツ及び生涯スポーツとして軽スポーツ・レクリエーションスポーツの普及・推進を図るため設置したものである。
所在地	弘前市大字豊田二丁目3番地
指定管理者名	公益財団法人弘前市体育協会
指定期間	平成26年4月1日から令和6年3月31日
1 事業計画の実施状況 施設の設置目的を理解し、協定書、管理業務基準書及び事業計画書に基づいて、概ね計画通りに実施されている。 施設の維持管理については、職員間の情報共有や他指定管理施設との連携により適正な管理運営を実施している。	
2 自主事業の実施状況 弘前克雪トレーニングセンターでは、引き続き恒例開催となっている、グラウンドゴルフ大会(2月)、足が速くなる教室(4・5月)、中3野球教室(9-12月)、フィジカルトレーニング教室(12月～2月、3月中止)を実施していた。 弘前市運動公園においても、引き続き陸上競技場室内走路の無料開放、好評をいただいている桜のせん定枝の無料配布を行うとともに、テニス用品・スポーツドリンク・氷・カイロ等の販売、利用者ニーズに合った自動販売機の設置を検討し、利便性の向上を図った。また、有効な施設活用を目指し、ヨガフェスタ(5月)、バッティングセンター(4・10月)、冬期間に球場内諸室を利用したフィットネス教室(11月～2月、3月中止)を行うとともに、「冬の球場アート」(2月雨天により途中中止)開催に合わせ、Happyメッセージを実施した(バナナボードは中止)。さらには、合宿誘致による地域活性化を目指し、筑波大学野球部等に協力をいただき、キッズフェスタを開催したほか、はるか夢球場の防災拠点としての周知を図る防災フェスタ(4月)防災展示コーナー(9月)を実施していた。	
3 市民サービス向上のための取組状況 安全管理に関するものや事業・サービス提供等に関する会議・研修に積極的に参加し、管理体制の強化とサービス向上に努めていた。パンフレット、月間予定表、ホームページ、SNS(Facebook)、館内掲示物を随時更新し、情報提供に努めていた。施設の特性とニーズに合わせた収益事業を展開していた。	
4 市民ニーズの把握の実施状況 ご意見箱、ホームページでのお客様の声、SNS(Facebook)、での問い合わせなどを行い把握に努めていた。また、期間を定めた集中アンケートの実施や自主事業実施の際にアンケート用紙を配布し、意見を収集していた。	

5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）

利用団体数8,501件（前年比93.6%）、利用人数317,051人（前年比86.1%）、使用料19,020,290円（前年比95.5%）

弘前市運動公園内の、野球場は開催地の持ち回りにより、当球場を利用する大会が少なく、利用人数の減となった。庭球場・球技場は、前年比で微増。運動広場は30年度東小学校校庭工事の代替場所としての利用があったため、31年度においては減少している。陸上競技場は改修工事の影響もあり、いずれの項目も減少した。

弘前克雪トレーニングセンターは、ウエイトリフティング場の利用が引き続き増加しており、増加傾向にある。利用人数減少の要因としては、食と産業まつり（30年度比17,000人減）影響が大きかった。

また、2施設ともにコロナウイルスの影響も大きかった。今後は運動公園全体としての利用価値・効果をさらに得るために、周知方法の工夫・自主事業の開催・ニーズに合わせた使用形態の変更などに引き続き取り組む必要がある。

6 指定管理業務の収支状況

再委託業務仕様内容の変更（必要度の査定及び近似業務の統一化）、計画的な修繕実施計画、計画的な経費執行等により、別紙予算書の執行状況となった。ただし、最低賃金アップによる人件費（再委託業務も含む）の増加により、支出負担が増加している。

7 実地調査の結果

自主事業の積極的な取り組みや、施設の維持管理・運営は概ね適正に実施されている。

8 成果指標の達成度

<弘前市運動公園野球場>

利用件数：目標 154件 実績 191件 達成率 124%

利用人数：目標 39,549人 実績 71,495人 達成率 181%

<弘前市運動公園庭球場>

利用件数：目標 7,016件 実績 4,980件 達成率 71%

利用人数：目標 47,365人 実績 53,618人 達成率 113%

<弘前市運動公園球技場>

利用件数：目標 90件 実績 695件 達成率 772%

利用人数：目標 11,284人 実績 36,418人 達成率 323%

<弘前市運動公園陸上競技場>

利用件数：目標 68件 実績 64件 達成率 94%

利用人数：目標 47,285人 実績 36,731人 達成率 78%

<弘前市運動公園運動広場>

利用件数：目標 287件 実績 149件 達成率 52%

利用人数：目標 27,654人 実績 10,632人 達成率 38%

<弘前克雪トレーニングセンター>

利用件数：目標 1,323件 実績 1,381件 達成率 104%

利用人数：目標 100,448人 実績 90,879人 達成率 90%

9 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	従来の維持管理の水準を維持した上で、利用者の安全管理、サービス提供をおおよそ実施することが出来たため。	使用料の取り扱い等についてコンプライアンスを徹底させるための職員研修を実施し、定期的な内部会計監査を実施したが、今後も継続的な実施が必要である。
施設の管理	B	利用者の安全を第一に緊急時(災害)対策に努めるとともに、個人情報・文書・備品等の管理を実施した。また、指定管理料の範囲内で施設の維持管理を実施できた。	より効率的な計画の実施と職員の管理業務の能力向上が必要である。
経理の状況	C	指定管理料の長期的な執行計画を基に適正に執行に努めたが、最賃改定による人件費のベースアップに対応できない。	人件費に加え、施設の老朽化に伴い、指定管理料の範囲内での大型修繕の執行計画が必要である。
団体の財務状況	B	指定管理料及び収益事業を適正に管理し予算範囲内で財務状況を維持できたため。	組織全体のより具体的な長期的財務執行計画の構築が必要である。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	適正な施設運営や自主事業の開催を行っている。	職員の資質向上と利用者ニーズの把握を図り、適正な施設運営と地域に密着した自主事業の展開などに期待する。
施設の管理	B	快適な施設環境作りと安全対策や緊急時対策を図っており、また個人情報や文書や文書等の管理も適切に管理している。	長期的な視点での施設備品類の老朽化に伴う安全管理を進めていただく。
経理の状況	B	収支状況、経費の削減、帳簿等の整備・保管について、概ね適正に実施している。	最低賃金改定による人件費見直しの検討及び自主事業等による収入増の工夫が必要である。
団体の財務状況	B	自主事業等による収益もあり、安定した経理的基盤を有している。	今後も安定した財務状況を維持していただく。

【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する